

5月31日：大型株を中心に売られまちまちの動き

ハノイ市場とホーチミン市場で逆の動きとなった。投資家は割安な大型株に資金を向けていた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.27%安の1,075.17ポイントで取引を終えた。火曜日には0.3%高となっていた。

一方、ハノイ取引所のHNX指数は6日続伸となり、0.67%高の222.81ポイントで取引を終えた。

564銘柄の上昇に対して298銘柄が下落していた。

VN30指数では、19銘柄が下落し、8銘柄のみが上昇した。

VN30指数の売買代金は前日比14%増加し4.5兆ドンに達し、過去6営業日で最大だった。

ホーチミン市場の出来高は9.24億株、売買代金は15.8兆ドンだった。ハノイ市場では1.36億株、2兆ドンが取引された。

午後に入って上げ基調になる場面もあったが、大型株を中心に売られ、指数は反発できなかった。ビンホームズ (VHM)、ベトコムバンク (VCB)、ビンググループ (VIC) の下落が指数を押し下げた。

ロンベト証券は、1,075-1,080ポイントの抵抗線に近づくと売りが強くなり、強い抵抗線となることを警戒している。

良い点として、下落した際には資金が流入しており、下げを吸収する動きがみられると同社は挙げた。

同社は上昇基調が続き、1,085-1,100ポイント付近を試す展開になると予想している。

外国人投資家はホーチミン市場で4,530億ドンの売り越し、ハノイ市場では210億ドンを買越し越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。